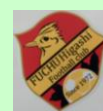


平成30年6月29日

風は東から

To be continued...



東高Styleの原点を見直す!!
日本代表が決勝T進出!!

2018 ワールドカップロシア大会が開幕!! 寝不足の日々が一ヶ月ツツキマス...

東高サッカー部の「原点」は、身体 TR にあり!!

ワールドカップロシア大会が開幕しました。ドイツ、ブラジル、アルゼンチン、スペインと優勝候補の筆頭のチームが初戦から苦戦する展開の中、予想に反して(?)、日本代表は初戦の**コロンビア戦**に**2-1**で勝利し、続く**セネガル戦**では**2-2**と引き分け、この通信作成時点では、**勝ち点4**とグループ首位となっています。長谷部、長友、本田、香川など前回も選出されたベテラン勢だけではなく、大迫、乾、原口、柴崎といった新たなメンバーの活躍も見逃せません。28日(木)に行われる、グループ最終戦の**ポーランド戦**の結果如何ですが、ここまで来たら是非決勝トーナメントに進出して、ベルギーかイングランドに挑んで欲しいと思います。**頑張れ、ニッポン!!**



<四年に一度の祭典、ワールドカップ!! 世界中、国の代表の結果に国民の関心度は高い!!>

今年度は、梅雨の影響を受けTリーグが順延に...

昨年度は、インターハイ予選敗退後、地区トップリーグが六月毎週生まれ、公式戦の厳しいゲームが続きました。梅雨時期にも関わらず、運良く一度も雨が降られずに全日程を実施できましたが今年度は、三ゲームが悪天候によるグラウンドコンディション不良のため順延となっています(夏休み以降になります)。Tリーグはレベルも高く、どのゲームも厳しい闘いが展開されることが想定されます。ここは、気持ちを前向きに捉えて、リーグ戦への準備期間ということで**TR&TRM**でチームづくりを進め、次節の7月14日に行われる**正則学園戦**に向けて、**東高Style**の拘りと決定力**UP**ができるようにより積み上げてレベルアップしていきたいと思います。

また、地区リーグも並行して行われていますが、**サテライトチーム**が参戦している地区リーグ二部、三部とも不甲斐ないゲームで黒星発進となりました。昨年の先輩たちが苦労して残した結果をこの一年間で簡単に不意にしてしまうのか...? トップもサテライトも同じ練習量、同じアプローチを行っています。入学当初は多少の技術の差はあっても、一年後、二年後のトータルで見たときの大きな開きはどこに原因があるのでしょうか?

生活の全てが、グランドに出る!!

この大きく開いてしまった差は、全て、日々のTRに対する意識や取り組み姿勢にあります。同じ練習メニュー、同じ練習量、試合数（サテライトチームの方が多いです）の中で、全力で出し尽くし培われたものは、簡単には崩れません。厳しいTRに一途に臨んで得たものは、子どもたちの真の力として身に付いていきます。

TRに対する意識や姿勢を変えていくのは、やはり日常生活(学校生活)からではないでしょうか？一日は24時間、グランドにいる時間よりもそれ以外の時間の方が遥かに長いのです。その日常生活、意識、姿勢が全てグランドに出てくるのです。誤魔化しは一切効きません!!

日常の力から100%出せること。集中して全力でやりきること。自分の目標を確認すること。挑戦者であり続けるために、この日々の継続する「高い意識」と「覚悟」が、子どもたちの成長に繋がります。自分自身を変えるヒントは、日常にあります。

東高サッカー部の生命線は「身体」にあり!!

今回、染谷氏の「らくらく整骨院」から、小澤源太郎(通称ゲンちゃん)さんが特別ゲストとして東高に訪れ、子どもたちに正しい身体の姿勢についてレクチャーしてくれました。人間の身体を知ることや正しい姿勢を維持することが、日常行っているTRの歩く、走る、跳ぶなどのトレーニングに活かされます。自分の身体を正しく動かす意識と操作をシンクロさせることが、東高サッカー部のベースにあります。二月末から新たにスタートしたTRの取り組みの成果も徐々に表れています。当然、個人差はありますが、子どもたちも必死に自分の「身体改革」にチャレンジしているところです。

「脚」から「足趾」へ!! 今までのTRを継続し、更に進化していきたいと思います。

<正座や胡坐をかくこともTR>



<After the Game>

関東地方に最速の梅雨明け宣言!!

早速、夏の厳しいTRに突入します。

今年のチームは、ここまでの公式戦では結果が出ずに苦しんでいます。コーチングスタッフや保護者、後援会方々など多くのサポートを受け、充実したTRを行っています。今まで以上、印象に残るゲーム内容に拘っていきます。

さて、今年度に入り、東高サッカー部に興味を持たれた方が、TRやTRMを観に来られるようになりました。関心を持たれることは嬉しいことです。私も現状に満足せず、本質を抑えながら、日々「学び」それを子どもたちに伝えていく努力を継続しなくてはならないと思っています。



<試合後に、東京タワーまでランニング記念写真>

